

新交通日暮里・舎人線車両基地整備工事

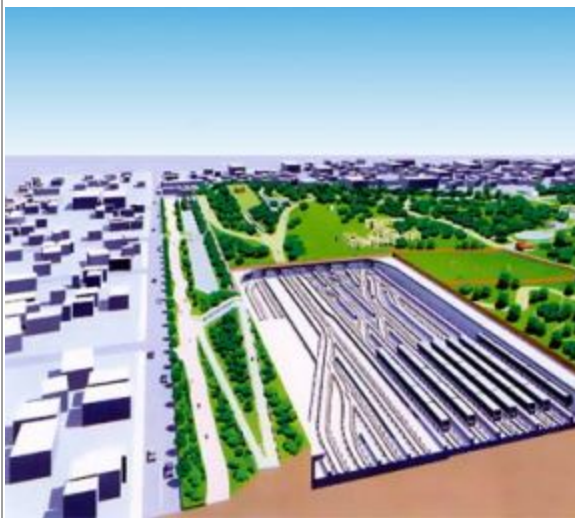
発注者 : 東京都交通局
施設所在地 : 東京都足立区
調査見学時期 : 平成 18 年 5 月 15 日
工事概要

都内足立区舎人から日暮里駅（放射第 11 号線・通称尾久橋通り）までは、バスで 60 分かかっている交通の難所です。この間、約 10km 区間を新交通システムで結ぶ新線で、平成 19 年度中の開業を目指して建設が進んでいます。この車両基地は、東京都地下鉄建設株式会社が、都立舎人公園内北側の未開園部分に建設しているもので、延長約 530m、幅員約 85m の覆土式の車両基地となります。完成後、上部は、公園として整備されます。

この事業の特徴は、事業主の東京都地下鉄建設株式会社が、アットリスク CM 方式（施工に関するリスクも受託者が負う形態）という土木分野で国内初の発注方式で事業を推進していることです。受託者は、事業主の利益の最大化を図るために事業主の代行者としてプロジェクト全体をマネジメントすることが大きな役割となります。

受託者は、プロポーザル方式による公募で審査を経て清水建設株式会社となりました。この方式による事業主のメリットは、①執行体制がスリム化し、人件費などのコストが縮減できる、②最大保証金額の設定で工事費の増加を抑制できる、③競争力を高めて高品質の技術提案を引き出せる、などが挙げられます。

この事業は、このようなメリットを産み出すことに成功し、アットリスク CM 方式という発注方式が今後採用される可能性が高くなることを強く予感させるものでした。（G E C ニュース第 2 0 2 号より抜粋）



予想イメージ図



2005 年 8 月 航空写真